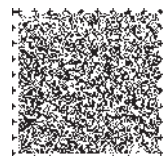


第6次朝霞市総合計画

だれもが誇れる  
暮らしつつげたいまち 朝霞

概要版

朝霞市

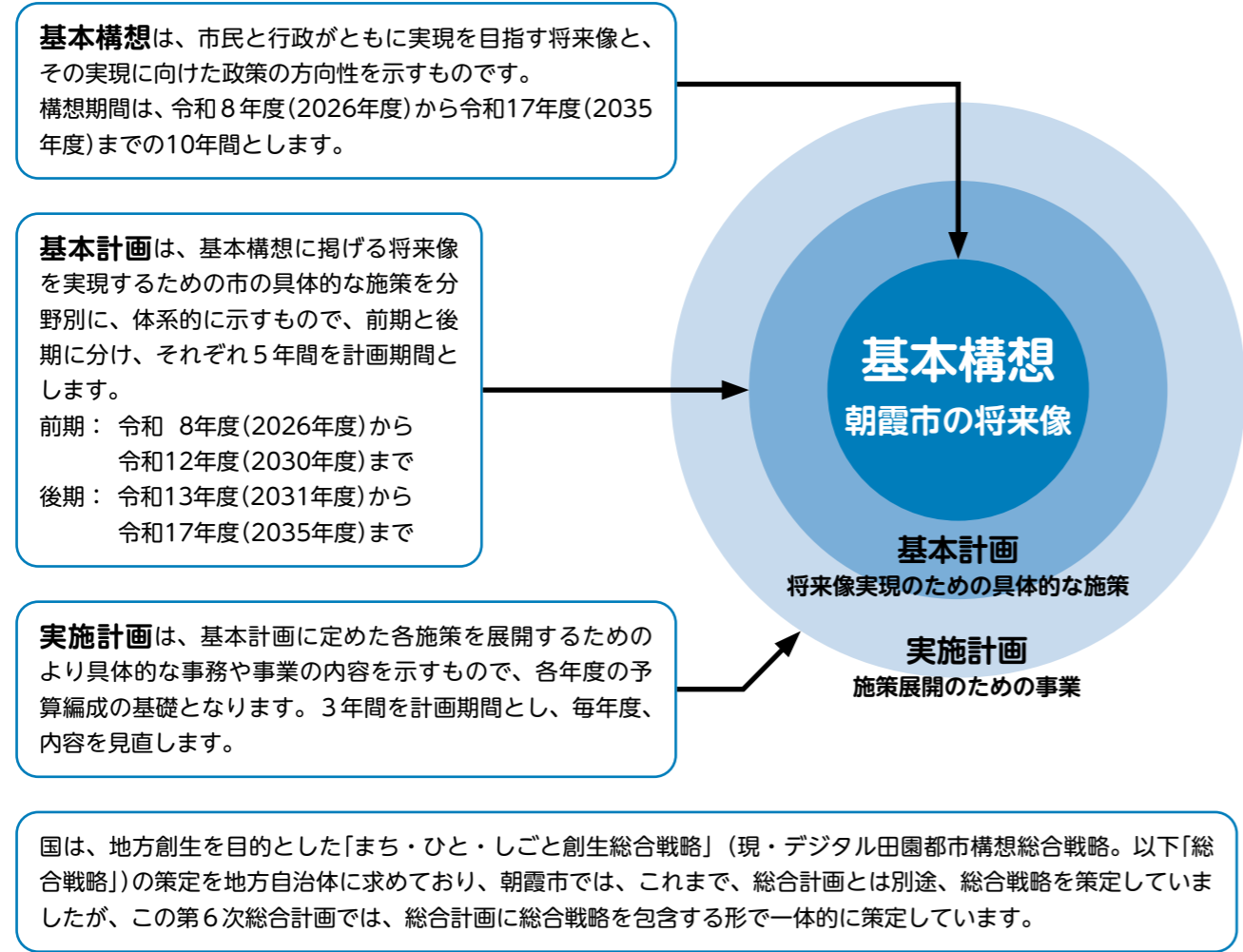


# 総合計画とは

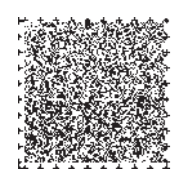
総合計画とは、中・長期的な視点から市民の皆さんと市がともに目標とする将来像を描き、その実現に向けた施策などを示すもので、まちづくりの最も基本となる計画です。

第6次総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3層から構成されています。

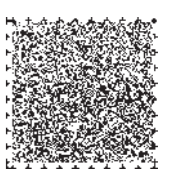
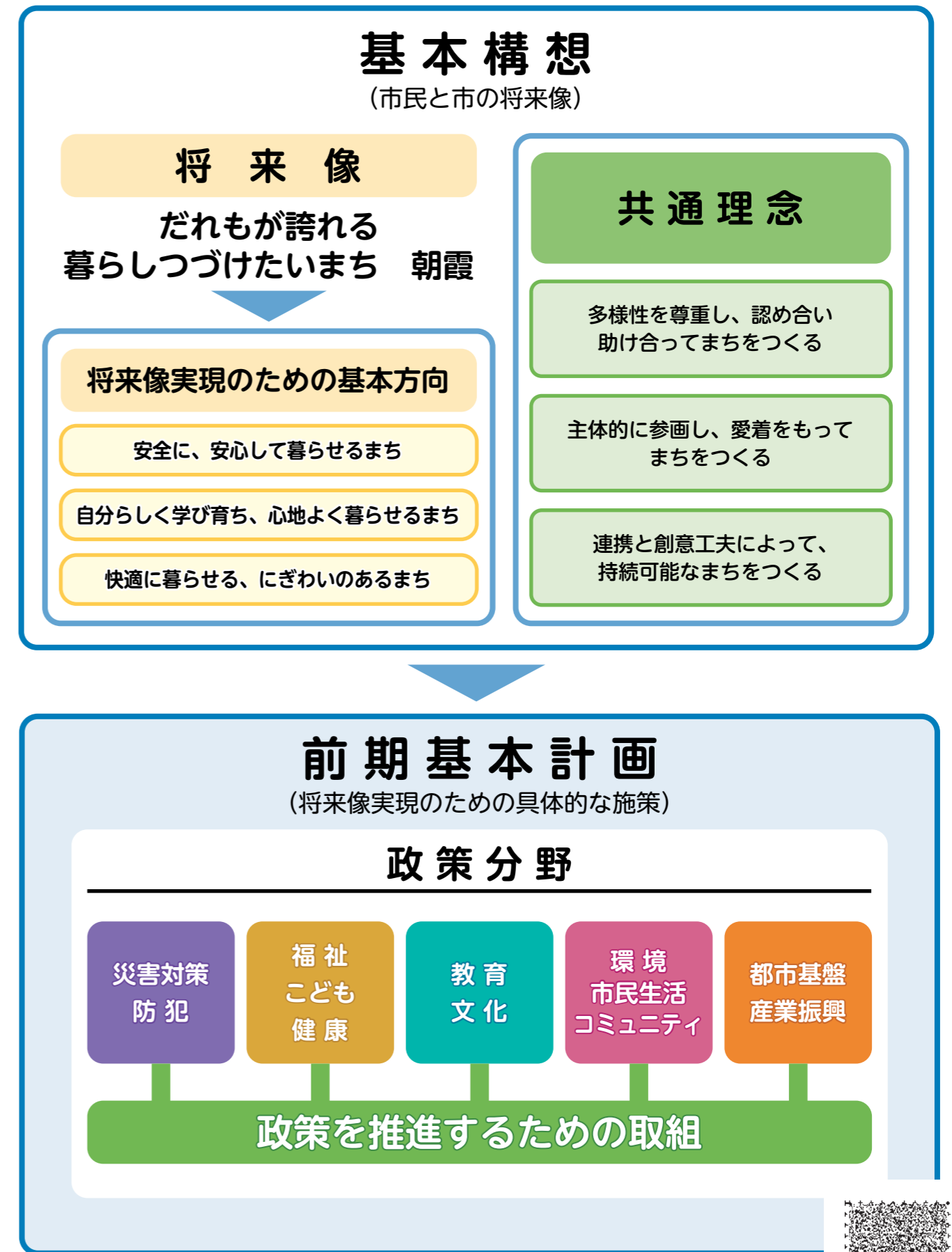
また、将来にわたって活力ある地域社会の実現に向けた施策を定める「朝霞市デジタル田園都市構想総合戦略」（総合戦略）を包含する形で、一体的に策定しています。



## ■ 基本構想・前期基本計画・実施計画の計画期間



# 基本構想・前期基本計画の構成図



# 将来像

## だれもが誇れる 暮らしつづけたいまち 朝霞

朝霞市は、武蔵野台地に育まれた緑と水辺に恵まれ、交通 利便性の高い東京近郊の住宅都市として発展し、市制施行時に約5万5,000人だった人口は、これまで増加を続け、令和7年(2025年)には約14万6,000人を有する都市に成長してきました。

これからも、朝霞市の強みである生活利便性や安全性、恵まれた自然環境、朝霞市民まつり「彩夏祭」に代表される文化などを、未来に継承していきます。

さらには、近年希薄化しつつある人と人とのつながり の再生や、協働によるまちづくりの活性化を通じ、第5次総合計画の将来像として掲げた『暮らしつづけたいまち』をさらに洗練することで、誰にとっても魅力的で誇りを持てる、住みやすいまちを目指していきます。



# 基本方向

将来像『だれもが誇れる 暮らしつづけたいまち 朝霞』を実現するためには、市政運営の大きな方向性を示し、みんなが方向性を同じくして取り組んでいくことが大切です。そこで、将来像の実現のための基本方向として、「安全に、安心して暮らせるまち」、「自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち」、「快適に暮らせる、にぎわいのあるまち」の3つを掲げます。

## 安全に、安心して暮らせるまち

“安全に、安心して暮らせるまち”として、子どもや高齢者、障害者等、誰もが「災害や犯罪への対策が充実しており、安全に暮らしていける」と実感できるまちを目指します。

また、「子育て支援等の福祉サービスや、市民の健康づくりへの支援等が充実しており、安心して暮らしていける」と思えるまちを目指します。

〈関連する主な政策分野〉

災害対策  
防犯

福祉  
子ども  
健康



## 自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち

“自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち”として、子どもや高齢者、障害者等、誰もが「充実した教育を受けながら成長し、活躍する場がある」と実感できるまちを目指します。

また、「恵まれた自然環境の中で、人と人とのつながりがあり、住みやすい環境がある」と思えるまちを目指します。

〈関連する主な政策分野〉

教育  
文化

環境  
市民生活  
コミュニティ



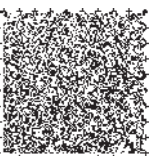
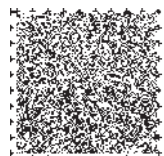
## 快適に暮らせる、にぎわいのあるまち

“快適に暮らせる、にぎわいのあるまち”として、子どもや高齢者、障害者等、誰もが「道路や公園等のインフラが整備され、便利さと快適さがある」と実感できるまちを目指します。

また、「地域の特性を生かした産業活力など、にぎわいがある」と思えるまちを目指します。

〈関連する主な政策分野〉

都市基盤  
産業振興



# 共通理念

将来像の確実な実現に向け、すべての政策を推進するための共通理念として、次の3点を掲げます。

## 多様性を尊重し、認め合い助け合ってまちをつくる

朝霞市にはさまざまな人々が暮らし、個性や価値観、社会的な状況なども多様です。また、人々と同様に、朝霞市の各地域にも、それぞれの個性があります。

これからのまちづくりでは、社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)や多様性(ダイバーシティ)を尊重し、人の個性や地域特性の多様性を尊重し、認め合い助け合いながら、未来の朝霞をつくっていきます。

## 主体的に参画し、愛着をもってまちをつくる

地域における課題解決に向けては、行政だけではなく、市民等それぞれが自分ごととして捉え、さまざまな視点から主体的に活動することが大切になります。

これからのまちづくりでは、市民にとって市政への参画が身近であるまちを目指すとともに、参画と協働を通じてまちへの愛着を育みながら、未来の朝霞をつくっていきます。

## 連携と創意工夫によって、持続可能なまちをつくる

複雑化・多様化した課題の解決には、広域的な視点や、市民など行政以外の視点を取り入れることが欠かせません。

これからのまちづくりでは、他の自治体や市民等のまちづくり活動の主体と連携し、デジタル技術の活用など絶え間なく創意工夫を重ね、市民生活を安定的に支えられる行財政基盤を構築しながら、未来の朝霞をつくっていきます。

# 政策分野

基本構想に掲げる将来像や将来像実現のための基本方向を踏まえ、基本計画における政策分野を次のとおりとします。

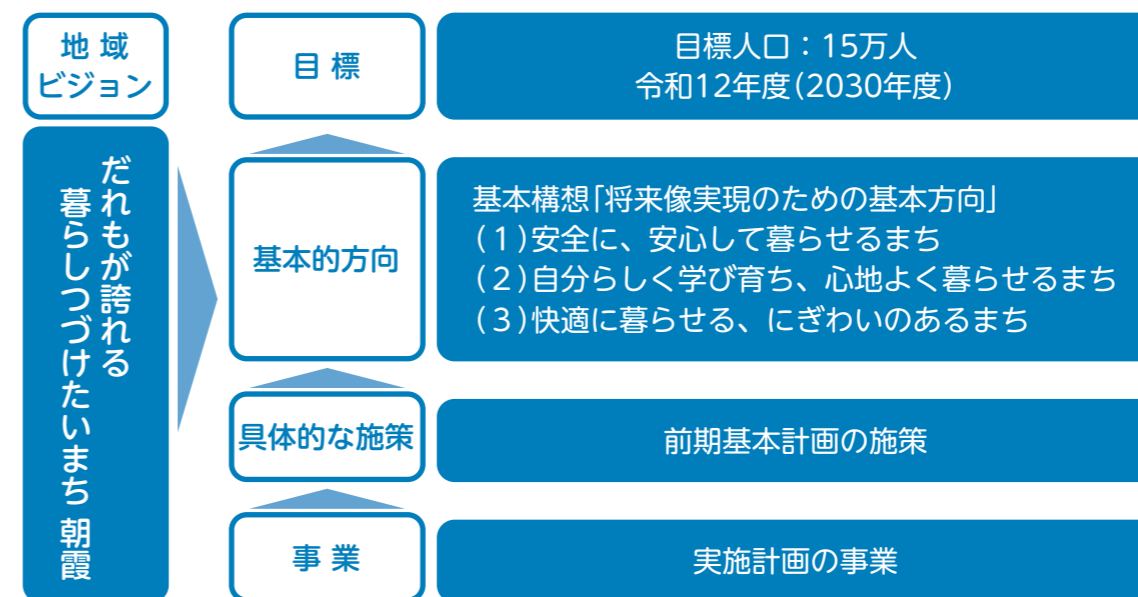
なお、社会経済情勢の著しい変化に柔軟に対応していくため、具体的な施策や取組については基本計画に位置づけます。



# 朝霞市デジタル田園都市構想総合戦略

## 〈総合戦略の構成〉

基本構想の将来像を地域ビジョンとして掲げ、令和12年度(2030年度)の目標人口を15万人と展望しています。



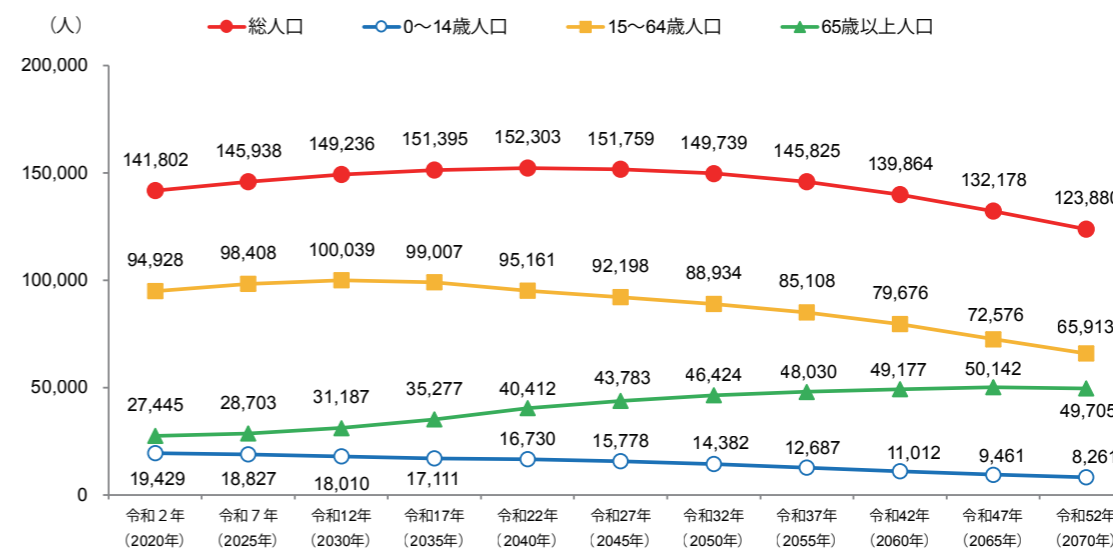
※ 総合戦略に求められているKPI(重要業績評価指標)は、第6次総合計画前期基本計画の施策および実施計画の事業に付された成果指標としています。

## 〈人口の将来展望〉

現在の人口増加傾向を可能な限り維持していくとともに、いずれ訪れる人口減少局面に備えていきます。

また、子育て支援や若者の移住・定住の促進に努め、将来にわたってバランスの良い人口構成を保っていきます。

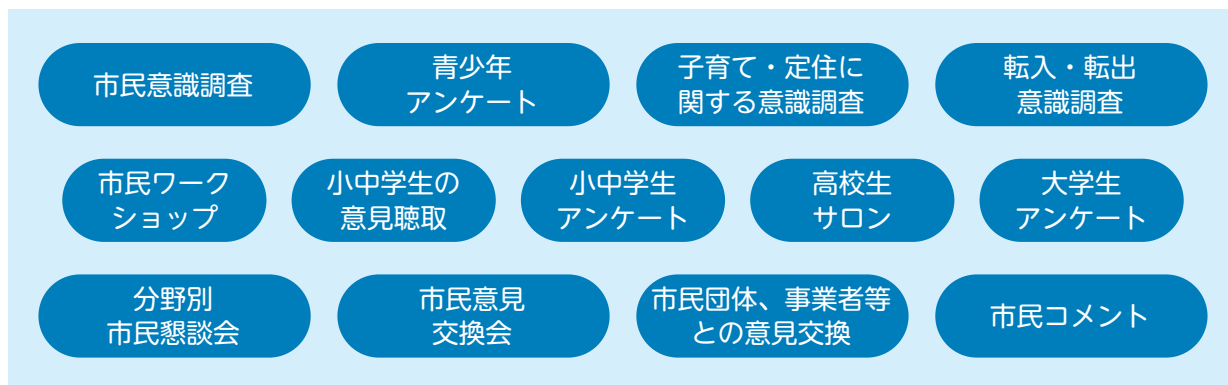
■ 本市の将来人口の推計



# 市民との協働による総合計画の策定

## 第6次総合計画は、市民の皆さんと一緒に作りました！

朝霞市では、総合計画の策定にあたり、策定期間を通して、さまざまな形で継続的に市民の皆さんの声を聴き、皆さんの想いや視点を多く盛り込みました。



## 第6次総合計画の完成



市民ワークショップ



市民意見交換会



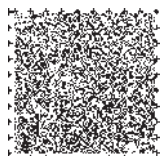
高校生サロン



分野別市民懇談会

### 第6次朝霞市総合計画〈概要版〉

発行／朝霞市 編集／市長公室政策企画課 令和8年(2026年)3月発行  
〒351-8501 埼玉県朝霞市本町1-1-1  
電話048-463-1111 (代表)  
URL <https://www.city.asaka.lg.jp>



第6次朝霞市総合計画の全文は、市ホームページ(<https://www.city.asaka.lg.jp>)、市政情報コーナー、内間木支所、各出張所、各公民館、図書館(本館・北朝霞分館)でご覧いただけます。